

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	個別サポート支援 あっぶるきっず		
○保護者評価実施期間	2025年 2月10 日 ～ 2025年 2月21 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 2月6 日 ～ 2025年 2月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月14 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性を十分理解した上で適切な支援を提供できている。またスタッフ間での連携がしっかりとれていること。	事前の打ち合わせや、療育後の振り返りを必ず行い、子どもたちの様子や支援方法、保護者様の様子を確認し、共有するとともに次回の支援につなげるようにしている。	より発展的な振り返りになるように、振り返りの在り方や記録の残し方などを検討する。
2	個別支援だけでなく、祝日イベントなどで小集団活動を行うことで、個別で身に付けた事を練習することができること。	小集団活動を考える際に、個別支援で経験した「どうぞ」「ありがとう」のやりとりなどを実際にできる取り組みをいれている。	今後も丁寧な説明や情報を共有する機会を持つとともに、信頼関係の維持に努める。 個別支援と小集団活動を上手く活用し、子ども一人一人の特性にあった支援を考えていく。
3	保護者様がお子様の療育での姿をタブレットで視聴できること。	療育を終えた後に保護者様とのフィードバックを設けることで、育児や発達の悩みについて相談できる機会があり、保護者の悩みを軽減できるように心がけている。	家庭でも実践できる支援方法をアドバイスしたり、保護者様からの視点もしっかりとお聞きし今後の療育に繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングを実施できる環境が整っていないこと。	施設側、保護者様の時間的都合もあり、ペアレントトレーニングを実施する機会を積極的に設けることができなかった。	職員の研修受講の他、保護者との関係性を深めてペアレントトレーニングの実施をアプローチしていく。
2	保護者会同士の交流の支援、家族が参加できる研修会や情報提供の機会が少ないこと。	現在は個別支援の性質上、父母の会や保護者会を設置しておらず、保護者同士の交流ができていない。	保護者同士の交流の場を必要に応じて作ることも考えていく。引き続き保護者に寄り添った対応に努め、祝日イベント等で保護者同士の交流の場を設ける。
3	駐車場が少し離れた位置にあること。 (駐車場に車を停めて、子どもたちと交通ルールを学びながら事業所まで歩くことも行っている。)	駐車場と事務所が隣接していないため。	保護者の方が車で迎えに来られる際には、事前に帰る準備などしてスムーズに出られるようにする。また、近隣の住民の方々からの理解を得られるよう努めていく。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 個別サポート支援 あっぶるきっず

公表日 2025 年 3 月 12 日

利用児童数 21 (対象者数: 19)

回収数 18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1			個別の部屋、身体を動かす（小集団活動）などの環境があり、こどもたちにとってメリハリがあり良い。	来所される児童数などを踏まえて、十分な支援スペースの確保を行います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1		3		法令順守しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2	1	3	子どもが自主的に過ごせているので、分りやすい環境の中で過ごせている。	階段が急であり、バリアフリー化ができていない点もあります。今後もこどもと大人が一対一になって昇降を行うことで、常に事故防止に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18				とても清潔感があり、制作など季節に合わせて貼って子どもたちにとっても楽しい空間になっている。	毎日清掃や消毒を行っています。活動に集中できるように、環境づくりを行っています。今後もこども達が過ごしやすい環境づくりに努めてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	2			子どもへの理解把握をして下さり柔軟に支援を行ってくれている。	今後も特性に応じた支援を行ってまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			2		支援プログラムを作成し、ホームページに掲載して公表しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			2		モニタリング及び支援計画にて具体的な支援内容を設定しております。ご不明点等ございましたらお気軽にお申し付けください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1		1	子どもの様子を見ながら、様々な活動を工夫して頂き、保護者の声も聞いて下さっている。	オーダーメイドなプログラムを提供しています。今後も様々な経験につながる療育活動を行ってまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	1	2	4		今後保育所や認定こども園、幼稚園等との交流の機会について、検討してまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1	1	1		ガイドラインに基づきながら児童発達支援計画を作成し、契約時及びモニタリング時にご説明をさせていただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	4	2	3		保護者様のお悩みを丁寧に聞き取り、そのお悩みを解決できるように支援方法のご提案などを行います。（場面に合わせた声掛けの方法など）
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。	17	1			ノートでの細かい様子を教えて下さりまたLINEで様子の写真を送って頂いて子どもの様子がよくわかりました。	今後も連絡帳やLINEを通じて、こどもの様子をきめ細やかに伝えてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2		4		主に支援後のフィードバック時に、ご相談に応じています。また、子育てに関する助言等の支援を行う場として、面談を設定しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	4	5	親子のイベントもあり、他の保護者との交流もあり子どもたちを通して、関わりを持てる事もあった。	今後、年に1回は、保護者も参加できるイベントを考えてまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			1		相談や申入れに対しては迅速かつ適切に対応しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17			1		必要に応じて、絵カードやタブレットを用いて視覚支援を行い、意思の疎通を図っています。また、それぞれの子どもや保護者に合わせた情報伝達を工夫して行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1		5		今回行いました事業所評価の結果は、ホームページ上に掲示しております。また定期的に通信を発行しています。HPやInstagramの投稿を通じて、活動概要や活動の様子を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1		1		各マニュアルに関しまして、策定しております。また、内容の見直し、更新を随時行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			1		業務継続計画（BCP）を策定し、火災・地震・津波・河川の氾濫等の非常災害の発生に備えた訓練を行っています。子どもたちと実際に避難経路を歩き、注意点や危ない場所を一緒に確認しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			1		今後も事故等の防止に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1		1		事故等が発生した際には、受診や保護者様への連絡等、迅速に対応してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				安心して、のびのび通っていると思います。	お子様の気持ちに寄り添い、常に安心かつ楽しい療育をご提供できるように努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18				いつも「きょうはあつぷるきっずの日」と楽しみにしています。イベントも色々な活動を楽しみに期待しています。	今後とも、子どもたちが楽しく通所できるように工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				とても丁寧にして下さって感謝しています。	今後もご満足いただける支援に努めてまいります。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
個別サポート支援 あつぷるきっず		2025年 3 月 12 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令順守し、こどもが落ち着いて療育を行うことのできる環境を整えています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令順守しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		階段には手すりを設置し、昇降時のルールを守るよう支援しています。祝日イベント時など2階に上がる必要がない時は、階段前にバーテーションを設置し、活動の場所がわかりやすいように工夫しています。	階段が急であり、バリアフリー化ができていない点もあります。こどもと大人が一對一になって昇降を行うことで、常に事故防止に努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃や消毒を行っています。活動に集中できるように、空間の構造化を行っています。また、年長児が療育を行う際には、就学に向けて大きめの机や椅子を使用しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別療育であるため、個別の部屋で療育を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		療育終了後に、療育中のこどもの様子、療育での反省点、今後の支援の方針等について職員全員で振り返りをを行います。その内容を記録に残すことで、後から見返すことができるようにし、業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年保護者向け評価表の記入をお願いし、結果をホームページに掲載しています。その内容を受け、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員は毎年従業者向け児童発達支援評価表を記入し、その内容を受けて業務改善につなげています。また、定期的にミーティングを行い、職員間で意見を交換する場を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者による外部評価は行っておりません。今後、必要に応じて検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に一回は法人内研修があり、職員の資質の向上を図る機会を設けています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページに掲載して公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントシートに沿ってアセスメントを行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援計画を作成する際には、職員全員で会議を行い、今後の支援方法について共通理解の下で検討しています。その際、こどもの最善の利益を考慮して検討を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画は全職員間で共有され、計画に沿った支援を行っています。	今後も児童発達支援計画に沿って支援を行ってまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		こどもの適応行動の状況について、発達段階に関するアセスメントシートを使用して確認しています。また、行動観察を行い、一人ひとりの子どもに寄り添った支援を行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援ガイドラインに沿って、こどもの支援に必要な項目を適切に設定し、ご本人の特性に合わせた具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		朝礼等の話し合いの場に職員全員が参加し、活動プログラムの立案をチームで行っています。密に情報を共有し、得られた情報を基に、活動プログラムの検討・改善を行っています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	療育の中での気づきや改善点を職員間で共有し、次の療育に反映させています。また、基本的には個別での療育ですが、週のレクリエーションや祝日イベントを通じて小集団活動を行う機会も設けています。	今後も職員の能力向上に努め、より幅広い活動プログラムを取り入れてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	基本的には個別療育ですが、週の企画や祝日イベントを通じて集団活動も行っています。児童発達支援計画は、集団活動での課題も考慮しながら作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	基本的には個別療育ですが、祝日イベントの際には、支援の内容や役割分担について念入りに確認しています。	個別療育であるため、支援の内容についての確認は事後になっています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	「どのような支援を行い、どういった結果だったか」「療育時の子どもの様子はどうだったか」「今後どのような支援を取り入れるか」といったことについて、職員間で細やかな情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	記録を取り定期的に見直すことで、こどもの成長や環境の変化に合わせて、支援内容や支援方法を更新しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的にモニタリングを実施し、保護者のニーズ・支援記録なども参考に計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	こどもの状況をよく理解した者が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	ケース会議を通じて、他の障害福祉施設と情報共有を行っています。また、保育園や幼稚園等にこどもを送迎する際に、こどもの事業所での様子について園の先生方に共有しています。	関係機関との連携が不十分な点もあるため、今後関係機関とのさらなる連携を図れるよう努めてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	相談支援専門員とも連携を図りながら、併行利用や移行に向けた支援を行っています。また、保育所や幼稚園と支援内容等の情報共有と相互理解を図り、こどもを包括的に支援できるよう体制を整えています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	就学支援シートを通じて、子どもの特性や支援において配慮すべき点について、小学校と情報共有と相互理解を図っています。	今後より多くの児童について、小学校や特別支援学校(小学部)との間で情報共有を図ることができるよう努めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		現在地域の児童発達支援センターとの連携は図ることができていないため、今後検討してまいります。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	祝日イベント等の際には、同法人の他施設のこどもと活動する機会を設けています。	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流は行うことができていません。今後検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援終了後にフィードバックを行ったり、お困り事等について保護者の方とお話しする機会を設けたりすることで、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持つことができる体制を整えています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		現在、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会は設けることができていません。今後、そうした取り組みの実施を検討してまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について、契約時に丁寧な説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	児童発達支援計画を作成する際には、事前にモニタリングを行い、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容について説明を行い、保護者からの同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会は開催することができていません。	今後、年に1回は、保護者も参加できるイベントを考えていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申入れに対しては迅速かつ適切に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に通信を発行しています。HPやInstagramの投稿を通じて、活動概要や活動の様子を発信しています。	行事予定については、HP等に掲載することができておりません。今後はより多くの情報を発信することができるよう努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付きロッカーに保管しています。廃棄書類等については、ゴミ箱ではなくシュレッダーを使用して廃棄しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ジェスチャーや絵カード等の視覚支援、言語翻訳、ルビ振り等を活用しています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在、事業所の行事に地域住民を招待することはできていません。地域に開かれた事業運営を行うための取り組みについて、今後検討してまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルに関して策定し、内容の見直し、更新を随時行っています。職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、火災・地震・津波・河川の氾濫等の非常災害の発生に備えた訓練を行っています。こどもたちと実際に避難経路を歩き、注意点や危険な場所を一緒に確認しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時にこどもの状況について必ず確認し、全職員が把握しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーについては、契約時のアセスメントを通じて把握しています。祝日イベント時のクッキングでは、アレルギーに該当するものが材料やおやつに含まれていないかを徹底して確認しています。	今後も、もしもの事態を想定したエビベン研修やアレルギー対応研修を行い、適切な対応を行ってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理を十分にした上で支援を行っています。安全管理に必要な研修や訓練を行い、職員は安全計画の内容を定期的に確認しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画策定にかかわる事項についてのお便りを発行し、取組内容について家族等へ周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成し、職員間で共有しています。対応策や防止策について職員間で話し合い、再発防止に努めています。	ヒヤリハット事案に関する情報収集を行い、今後ご利用者様の安全確保を徹底してまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関するマニュアルを策定し、研修を実施しています。全職員が定期的に、日々の言動の振り返りを行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に十分な説明をし、書面にて同意を得ています。	